

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	商工観光部商業観光課
-------	------------

施設名称	奥州市まちなか交流館	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	株式会社まちづくり奥州	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	中心市街地の活性化及び市民の交流を図る	指定管理料の有無	有
施設概要	フロア面積630.76㎡（190.80坪）、イベントスペース、会議室、図書コーナー、飲食スペース、事務室	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市まちなか交流館	91,063	89,760	86,245	83,849	97.2	
(計)	91,063	89,760	86,245	83,849	97.2		
〔利用者の増減理由〕 全体的な利用実績及び会議室の利用者が減っており、気軽に利用しやすい施設にしなければならない。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(23年度)			
収入	指定管理料	13,050,000		13,050,000	歳入	使用料		使用料	112,000	
	利用料金	696,800		696,800		賃貸料		賃貸料		
	自主事業	105,162	122,419	227,581		その他		その他		
	雑収入	624,502		624,502						
	計	14,476,464	122,419	14,598,883		計(A)	0	計(A)	112,000	
	支出	人件費	8,509,416		8,509,416	歳出 ※経常的	指定管理料	13,050,000	人件費	9,012,556
		需用費	1,515,618		1,515,618		委託料		委託料	2,192,400
		役務費	160,152		160,152		需用費		需用費	492,134
		委託料	699,368		699,368		使用料及び賃借料	9,158,400	その他	12,305,464
		使用料・賃借料	297,029		297,029		計(B)	22,208,400	計(B)	24,002,554
租税公課		609,685		609,685	支出(B-A)	22,208,400	支出(B-A)	23,890,554		
その他諸費		54,627		54,627	歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費		
事業費		1,857,648	60,000	1,917,648		備品購入費		備品購入費		
計		13,703,543	60,000	13,763,543		計(C)	0	計(C)	0	
損益		772,921	62,419	835,340	支出(B+C-A)	22,208,400	支出(B+C-A)	23,890,554		
職員配置	常勤職員	3人		市の正職員	0人					
	臨時・非常勤職員	2人		市の臨時・非常勤職員	4人					

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	696,800		696,800

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	62.1%	H30年度 指定管理者損益	835,340円	評価
利用者一人当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数	155.6円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕			1,682,154円	評価
	工夫を凝らした事業を実施することによって、市民の憩いの場として定着してきていることから、中心市街地の活性化に寄与している。	〔行革効果額の積算根拠〕				
			H30	H29	比較	
		直営支出額	23,890,554	23,890,554	0	
		市支出額	22,208,400	22,258,400	△ 50,000	
効果額	1,682,154	1,632,154	50,000			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	1 使用許可に関する業務 2 使用料金の徴収に関する業務 3 維持管理に関する業務 4 中心市街地の活性化及び市民の交流を図るための事業の企画・実施	○		4
自主事業	サマーパーティ(ピアガーデン)	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検を行うなど、適切に管理した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行った。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	清掃委託業務により実施した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	光熱水費等のエネルギーの削減については、抑制に努めた。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入		協定書に記載なし	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	清掃委託業務により実施した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	公平に扱った。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	事業実施の都度、各種媒体及び看板表示により宣伝した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	苦情等へ適切に対応した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等へ適切に対応した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	積極的に自主事業を実施した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月、定期的に報告した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に管理した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	建物管理者の合同で点検した。	○	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	機械警備を実施した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	連絡網を策定し、体制を整備した。不審者情報等は警察へ情報提供した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	建物管理者において策定した。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	建物管理者と合同で実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価 3
		調査内容	施設内にアンケートボックスを常設。また、事業ごとにアンケート調査を実施している。	
		調査結果	常設アンケートは回答無しだったが、事業ごとのアンケートでは奥州散歩、古本市が好評だったので、今後も継続したい。	
	要望・苦情等	良好とする評価	職員の対応が良かった。	
		苦情・改善要望等	冬期間、管内が寒いと苦情があった。	

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	4	
3 事業の実施状況	4	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	積極的な事業の企画、実施により常に一定数の利用者があり、また、施設の適切な管理・運営により、市民の憩いの場として立ち寄り易い環境が確保されていることから、市民から一定の評価を得ているものと思われる。	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	周辺商店街と連携した事業をより充実させる。	くくり雑まつりスタンプラリー、利き酒大会を行った。 また、ハロウィンin水沢を開催した。	独自事業とさらなる収益事業へ取り組む。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	商工観光部商業観光課
-------	------------

施設名称	奥州市道の駅交流館	施設所在地	水沢 地域
指定管理者名	株式会社サンアメニティ	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民等との交流、地域地場産品等の展示又は開発及び旅行者に対する観光情報等を提供するため。	指定管理料の有無	有
施設概要	道の駅交流館:特産品展示販売、観光インフォメーションコーナー等 道の駅みずさわ:駐車場、公衆便所、多目的広場等	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市道の駅交流館	64,337	62,669	61,545	66,949	108.8	
(計)	64,337	62,669	61,545	66,949	108.8		
〔利用者の増減理由〕 利用者の増加理由は、花の苗を配るイベントやバーベキューの実施、道の駅で車中泊する人の増加、岩手県内への観光客の増加が考えられる。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	7,089,000		7,089,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金			0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入		1,205,538	1,205,538		計(A)	0	計(A)	0	
	計	7,089,000	1,205,538	8,294,538						
	支出	人件費	365,330		365,330	歳出 ※経常的	指定管理料	7,089,000	人件費	1,737,920
		需用費	4,560,001		4,560,001		委託料		委託料	4,817,000
		役務費	147,834		147,834		需用費	1,382	需用費	166,000
		委託料	2,256,249		2,256,249		その他	135,000	その他	
		使用料・賃借料	310,776		310,776		計(B)	7,225,382	計(B)	6,720,920
租税公課		0		0	支出(B-A)	7,225,382	支出(B-A)	6,720,920		
その他諸費		454,748		454,748	歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費		
						備品購入費		備品購入費		
計		8,094,938	0	8,094,938		工事請負費	320,760			
損益		△ 1,005,938	1,205,538	199,600	計(C)	320,760	計(C)	0		
				支出(B+C-A)	7,546,142	支出(B+C-A)	6,720,920			

職員配置	常勤職員	人	市の正職員	人
	臨時・非常勤職員	1人	市の臨時・非常勤職員	人

利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
			0

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	4.5%	H30年度指定管理者損益	199,600円	評価
-----------	--------------------	------	--------------	----------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	105.9円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	--------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕 30年度は3年に1回のオイルタンク点検の支出があったため、行革効果額はマイナスになっているが、17年度の直営当時は、専任の正職員1名を配置していたが、指定管理制度の導入により職員が減となり、人件費が削減されている。※保守管理委託料の支出を考慮して評価した。	〔行革効果額〕 △ 504,462円			評価
		〔行革効果額の積算根拠〕			
		H30	H29	比較	3
	直営支出額	6,720,920	6,720,920	0	
	市支出額	7,225,382	6,979,560	245,822	
効果額	△ 504,462	△ 258,640	△ 245,822		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使用許可業務 ・施設の利用に関する窓口相談業務 ・利用者への道路及び観光情報提供業務 ・警備、清掃、植栽管理業務 	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検を行い、適切に管理している。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行い、適切に管理している。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に実施している。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	光熱費の節減に努めている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に実施している。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施している。	○	2
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	SNSでの発信を始めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	快適な利用環境に努めているものの、更に努力が必要である。	△	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	適切に対応しているが、努力が必要である。	△	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	花苗をプレゼントする企画や地元住民とのバーベキュー大会を実施した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の業務報告書で報告を行っている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に管理している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	年間計画により適切に実施している。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に実施している。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	緊急時の連絡網を整備している。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	災害時におけるマニュアルを整備している。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	適切に実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	※第15回岩手「道の駅」いーはとーぶスタンプラリー時に実施。 ・道の駅に期待するもの(施設面、情報面、その他) ・スタンプラリー、道の駅への意見	
	調査結果	岩手県「道の駅」連絡会がアンケートを取りまとめ、岩手県「道の駅」連絡会協働会議で報告があった。 全ての道の駅に期待するものとして、営業時間、産直や物販、ご当地グルメの充実等、スタンプラリーでは、実施時期棟について意見があった。		
	要望・苦情等	良好とする評価 ・食事がおいしい。 ・散歩するのに良い環境。 ・バーベキューがよかった。		
	苦情・改善要望等	・駐車場が少なく駐車できないときがある。 ・水道の蛇口が使用できない ・従業員が誰かわからない。		

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	2	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	国道343号線の利用者に対し、休憩、食事及び交通・観光情報などを提供し、情報発信施設としての役割を果たしている。平成28年度から指定管理者が(株)サンアメニティに変わり、よりよい施設運営を目指して努力しているが、下請業者が非協力的で、運営に支障が出ているほか、利用者からも苦情が出ている。市からも下請業者に指導してるものの、改善が見られず、現在の運営体制を見直す必要がある。	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	利用者サービスの向上のため、指定管理者が運営しやすい体制整備。	指定管理者、地元地区振興会との連携、下請業者への指導。	利用者サービスの向上のため、指定管理者が自主事業を直営する。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	商工観光部商業観光課
-------	------------

施設名称	奥州市種山高原交流施設	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	江刺開発振興株式会社	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地場農畜産物及び種山高原の自然環境を活用し、市民及び都市住民等へ野外交流活動の場及び心身リフレッシュの場を提供することにより、農畜産業、観光及び物産の振興を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	種山高原交流施設(奥州市種山高原野外交流施設、奥州市江刺農林漁業体験学習施設及び奥州市種山高原キャンプ場)	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市種山高原交流施設等及びキャンプ場利用者数	13,091	13,059	11,686	13,192	112.9	
[利用者の増減理由] 4月末からゴールデンウィーク、そして最もお客様の多い7月下旬から8月にかけて好天が続いたことが大きな要因と考えられる。特にカーサイト、フリーサイトの利用が増加した。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	12,831,000		12,831,000	歳入	使用料		使用料	8,788,700	
	利用料金	10,600,300		10,600,300		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		1,465,374	1,465,374		その他		その他	451,328	
	雑収入			0						
	計	23,431,300	1,465,374	24,896,674		計(A)	0	計(A)	9,240,028	
	支出	人件費	11,151,208		11,151,208	歳出 ※経常的	指定管理料	12,831,000	人件費	
		需用費	5,400,257		5,400,257		委託料		委託料	21,783,000
		役務費	338,712		338,712		需用費		需用費	
		委託料	5,416,878		5,416,878		その他		その他	
		使用料・賃借料	490,806		490,806		計(B)	12,831,000	計(B)	21,783,000
租税公課		1,075,993		1,075,993	支出(B-A)	12,831,000	支出(B-A)	12,542,972		
その他諸費		474,342	857,354	1,331,696	歳出 ※臨時的	維持修繕費	265,032	維持修繕費		
						備品購入費	3,144,960	備品購入費		
計	24,348,196	857,354	25,205,550	計(C)		3,409,992	計(C)	0		
損益	△ 916,896	608,020	△ 308,876	支出(B+C-A)	16,240,992	支出(B+C-A)	12,542,972			
職員配置	常勤職員	4人		市の正職員		人				
	臨時・非常勤職員	4人		市の臨時・非常勤職員		人				
利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	12,879,000	48,000	12,831,000							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		45.8%	H30年度指定管理者損益	△ 308,876円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		972.6円	事業目的に適合しない支出等の有無		なし		2		
行革効果	[指定管理による行革効果]			[行革効果額]			△ 288,028円		評価	
				[行革効果額の積算根拠]					4	
				H30	H29	比較				
	直営支出額			12,542,972	12,542,972	0				
	市支出額			12,831,000	12,831,000	0				
			効果額	△ 288,028	△ 288,028	0				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用許可 ・施設及び設備の維持管理 ・利用料金の決定・徴収・減免 ・利用者の安全確保 ・その他管理運営に必要な業務 	○		3
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・売店、レストランの営業 ・星座の森感謝祭の開催 ・ミニドックラン整備 	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	毎日実施しており、必要に応じて修繕を実施している。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	毎日実施しており、専門業者による定期的な保守点検を実施している。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常清掃は毎日実施しており、シーズン前後に特別清掃を実施している。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	損害保険及び入場者施設賠償責任保険に加入していることを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	毎日実施している。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	減免対象者を明確にし、適切な執行をしている。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	各種団体へのセールス、広報、FM、インターネットでの広告宣伝を実施している。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切な運営が行われている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	内部研修等の実施により、適切に対応している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	星座の森感謝祭の開催、レストラン、売店を運営し、ミニドックランを整備した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	月1回実施している。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	夜間警備を委託し実施していることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応体制の確保が適切に取られていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網と対応マニュアル等により体制を整えていることを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	総合訓練、避難訓練の実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	利用者の情報、レポート状況、満足度	
		調査結果	県外からのお客様が多い	
	要望・苦情等	良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の清潔さ ・ペット同伴可 ・接客 	
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・浴室の開放時間を延ばしてほしい ・チェックインの時間を早めてほしい ・炭火のレクチャーをしてほしい 	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2	
	2 経費等の状況 (行革効果)	4	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<p>経費節減に努めながら、施設や周辺環境が良好に保たれ、積極的なセールスにより利用者は年々増加傾向にある。また、県外からのリピーターが増えており、星座の森を拠点に市内観光施設に回遊するなど、奥州市の観光客増加に寄与している。</p> <p>オープンから24年が経過し施設の老朽化が著しく、年次計画により修繕を進めるため、修繕費や備品購入費について今後増加していくことが考えられる。</p> <p>利用者からの評価は概ね良好であり、施設利用の満足度は高い。</p>		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	コテージの改修を実施するほか、コテージの外壁、屋根の改修について検討する。	デッキの修繕のほか、コテージの壁の修繕工事や備品の更新を行った。	コテージの改修工事を実施し、キャンプ場の敷砂利工事や看板更新の工事も進めていく。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	商工観光部商業観光課
-------	------------

施設名称	奥州市越路スキー場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	江刺開発振興株式会社	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日（1年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	冬季のスポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ロッジ1棟、ペアリフト1基（距離800m）、簡易リフト4基（総距離858m）、駐車場（800台収容）、ナイター照明（20基）	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市越路スキー場利用者数		8,330	8,480	13,929	13,364	
〔利用者の増減理由〕 12月22日にオープンしたものの積雪がなく、営業は29日からであった。また、営業終了も昨年より1週間早まったため、入れ込み客数が減少した。							3

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	13,237,000		13,237,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	7,651,332		7,651,332		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入			0						
	計	20,888,332	0	20,888,332		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	12,833,999		12,833,999	歳出 ※経常的	指定管理料	13,237,000	人件費	
		需用費	3,478,855		3,478,855		委託料		委託料	10,360,000
		役務費	515,972		515,972		需用費		需用費	
		委託料	1,947,141		1,947,141		その他		その他	
		使用料・賃借料	1,050,457		1,050,457		計(B)	13,237,000	計(B)	10,360,000
		租税公課	498,538		498,538	支出(B-A)	13,237,000	支出(B-A)	10,360,000	
		その他諸費	452,474	127,706	580,180	歳出 ※臨時的	維持修繕費	12,096,885	維持修繕費	14,406,386
							備品購入費		備品購入費	1,329,405
	計	20,777,436	127,706	20,905,142	使用量及び賃借料		1,035,058			
損益	110,896	△ 127,706	△ 16,810	計(C)	13,131,943	計(C)	15,735,791			
				支出(B+C-A)	26,368,943	支出(B+C-A)	26,095,791			
職員配置	常勤職員	4 人		市の正職員		人				
	臨時・非常勤職員	19 人		市の臨時・非常勤職員		人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	8,578,432	927,100	7,651,332							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		61.8 %	H30年度指定管理者損益	△ 16,810 円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		990.5 円	事業目的に適合しない支出等の有無		なし	2			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕 今年積雪が少なく、営業は例年よりも短くなったものの、入込客数は前年とほぼ同数だった。前年から19歳の利用客の利用料が無料になる取り組みを行っているため、効果が表れたものと考えられる。行革効果額はマイナスではあるが、自主事業による効果を考慮して評価した。			〔行革効果額〕 △ 2,877,000 円			評価			
				〔行革効果額の積算根拠〕			3			
		H30	H29	比較						
	直営支出額	10,360,000	10,360,000	0						
	市支出額	13,237,000	12,767,000	470,000						
効果額	△ 2,877,000	△ 2,407,000	△ 470,000							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の一般利用者への提供 施設等の維持管理 機械設備等の維持管理 施設利用料の決定・徴収・減免 その他管理運営に必要な業務 	○		3
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 売店の営業 スキー場感謝祭の開催（2月） 「雪マジ!19」への加盟 	○	誘客促進 ・スキー、スノーボード教室開催 ・ポスター、優待券の作成配布	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	毎日実施しており、必要に応じて修繕を実施している。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	毎日実施しており、専門業者による定期的な保守点検を実施している。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常清掃は毎日実施しており、シーズン前後に特別清掃をしている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	損害保険及び入場者施設賠償責任保険に加入していることを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	毎日実施している。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	減免対象を明確にし、適切に執行している。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	各団体へのセールス、広報、新聞、FM、インターネットでの広告宣伝を実施している。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切な運営が行われている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	内部研修等の実施により、適切に対応している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	越路スキー場感謝祭の開催、売店の営業、雪マジ!19に加盟しているほか、スキー教室の開催や、ポスター及び優待券の作成配布を行っている。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎日実施している。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	夜間警備を委託し実施していることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応体制の確保が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網と対応マニュアル等により体制を整えていることを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	総合訓練、避難訓練の実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価 1
		調査内容		
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価		
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2		
2 経費等の状況 (行革効果)	3		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	1		
評価理由	積極的なPR活動、日常的な施設点検、ゲレンデ整備を行い、事務発生防止に努めているほか、経費節減に努力している。市民はもとより、沿岸からの利用者も多く、交流人口の増加に寄与しており、積雪が確保されれば利用者の増加を図ることが可能である。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	年次計画でペアリフト、施設の修繕を実施する。	年次計画によるペアリフト更新工事のほか、ゲレンデ整備車の整備修繕、アンヴァーリフト修繕、ロッジ給水管改修、などを実施。	年次計画によるペアリフトの更新工事など、施設の設備更新を行う。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	商工観光部商業観光課
-------	------------

施設名称	えさし藤原の郷関連施設(①えさし藤原の郷、②江刺自然活用総合管理施設、③えさし観光交流館、④えさし郷土文化館)	施設所在地	江刺 地域
指定管理者名	江刺開発振興株式会社	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	①(藤)藤原文化及び平安建築の総合学習施設。②(自)農畜産物、農村文化を活用した農村型リゾートの活性化、特産物のブランド化。③(観)各種イベント等の実施支援、観光交流等を中心とした地域の活性化。④(文)豊かな自然、歴史的な郷土文化等を活用し、都市住民等との交流を通じた地域の活性化。	指定管理料の有無	有
施設概要	①(藤)時代考証に基づく平安建築群約120棟、施設面積A=17.0ha。②(自)多目的ホールほか一部三階建 建築面積2,977.81㎡。③(観)軽量鉄骨造一階建 建築面積499.99㎡。④(文)農業紹介ホール、体験棟、奥の院ほか 建築面積2,495.08㎡。	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	えさし藤原の郷	85,947	79,152	85,949	90,062	
江刺自然活用総合管理施設	127,162	112,515	100,254	106,601	106.3	
えさし観光交流館	2,280	4,148	1,487	1,412	95.0	
えさし郷土文化館	19,221	18,038	21,289	19,542	91.8	
(計)	234,610	213,853	208,979	217,617	104.1	
〔利用者の増減理由〕						
えさし藤原の郷は、個人入場者数が減少したものの、団体入場者数が6,232人増加した。特に外国人入場者数が7,641人増加しており、台湾をはじめとする現地エージェントセールスの成果が顕著に実績として現れた。また、25周年記念事業として整備した滝、ホテル、紅葉など四季を感じることができる庭園整備など施設の魅力向上、紅葉ライトアップ夜間営業等営業努力が利用者増に繋がった。						

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	189,818,920		189,818,920	歳入	使用料	9,087,264	使用料	147,542,000	
	利用料金	48,566,700		48,566,700		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		7,589,710	7,589,710		その他		その他		
	雑収入			0						
	計	238,385,620	7,589,710	245,975,330		計(A)	9,087,264	計(A)	147,542,000	
	支出	人件費	105,172,863	2,280,922	107,453,785	歳出 ※経常的	指定管理料	189,818,920	人件費	39,103,209
		需用費	24,409,233		24,409,233		委託料	7,963,000	委託料	253,498,448
		役務費	4,389,566		4,389,566		需用費		需用費	26,918,212
		委託料	30,093,043		30,093,043		その他	29,808	その他	
		使用料・賃借料	8,216,660	339,673	8,556,333	計(B)	197,811,728	計(B)	319,519,869	
租税公課		11,779,144		11,779,144	支出(B-A)	188,724,464	支出(B-A)	171,977,869		
その他諸費		42,869,362	3,532,188	46,401,550	歳出 ※臨時的	維持修繕費	2,584,440	維持修繕費	33,204,030	
						備品購入費		備品購入費		
計	226,929,871	6,152,783	233,082,654	工事請負費		66,938,400				
計	226,929,871	6,152,783	233,082,654	計(C)	69,522,840	計(C)	33,204,030			
損益	11,455,749	1,436,927	12,892,676	支出(B+C-A)	258,247,304	支出(B+C-A)	205,181,899			
職員配置	常勤職員	15 人		市の正職員	人					
	臨時・非常勤職員	14 人		市の臨時・非常勤職員	人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	50,149,800	1,583,100	48,566,700							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		46.3 %	H30年度指定管理者損益	12,892,676 円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		872.3 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△ 16,746,595 円	評価		
	28年度から30年度まで江刺自然活用総合管理施設大規模改修、平成29年度は開園25周年記念事業を実施しているため、行革効果はマイナスとなっているが、隣接する4施設を一体的に指定管理することにより、経費の削減が図られているほか、指定管理者の努力により入場者数が回復傾向にある。			〔行革効果額の積算根拠〕				3		
				H30	H29	比較				
				直営支出額	171,977,869	171,977,869	0			
				市支出額	188,724,464	198,894,671	△ 10,170,207			
			効果額	△ 16,746,595	△ 26,916,802	10,170,207				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の利用許可、施設及び設備の維持管理、利用料金の決定・徴収・減免、利用者の安全確保、その他管理運営に必要な業務。 (藤)鹿踊定期公演、えさしの語りべ、平安まつり(春・夏・秋)	○		3
自主事業	(藤)平安の雅正式十二単・束帯等着付け体験、ゆめひら号乗車体験、砂金採り体験、はまぐり絵付け体験、お茶会、お宝探し、コスプレ撮影会 (文)企画展、テーマ展、巡回展、作品展、定期講座、特別講座、文化講座、見学会、特別催事、基幹産業である農業体験(田植え、稲刈り)、地場産品による加工品作り(くるみ豆腐、そば、味噌)、伝承されてきた陶芸、さき織りなど	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検を行い、適切に管理している。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行い、適切に管理している。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に実施している。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	光熱費の節減に努めている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に実施している。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施している。	○	4
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	国内外エージェントへのセールス、学校等へPRを積極的に行い、観光客誘致に努めている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブルも少なく適切に対応している。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	スキルアップ研修等を実施し、適切に対応している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	事業計画に基づき積極的に事業を展開している。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	定期報告をしている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報方針に基づき適切に管理している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	年間計画により適切に実施している。	○	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	委託により適切に実施している。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	緊急時の連絡網を整備している。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアル等を整備している。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	適切に実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	(藤)(自)・利用者の来園目的、満足度、意見・要望 ・イベント時のアンケートや接客(会話)の中での意見交換 (文)・来館目的、企画展・体験学習の要望、職員対応、感想	
	調査結果	(藤)(自)・体験内容や園内環境に対して満足と感じているお客様が多い。 ・食事について好評をいただいた。(文)・企画展、講座などで定期的に来館する方が多い。 ・奥の院の職員の解説などの満足度が高い。解説を聞いて良かったとの声がある。 ・他ではあまり開催されない内容の企画展を実施している。(神仏系)		
	要望・苦情等	良好とする評価 (藤)・体験コーナーが無料で、小さな子どもも楽しめる。 ・ホテル鑑賞会を見れてよかった。 ・紅葉ライトアップは伽羅御所の新たな魅力を見れた。 ・スタッフが親切。 ・園内がきれい等。(自)・エレベーターが設置され大変便利になった。 ・店内がきれい。 ・従業員の対応がよい等。(文)・質問に丁寧に答えてもらい感じが良い。 ・企画展の資料で新しい発見があった。 ・親子での体験学習が楽しかった。 ・地域について学ぶことができてよかった。		
	苦情・改善要望等	(藤) 駅からのアクセスが悪い。(自) 時々食事の味にバラツキがある。 (文) 館内の歩く距離が長い。 ・館内に入るまで施設について詳しくわからなかった。		

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	3
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	4	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<p>・市と連携して学校関係者や修学旅行担当業者、国内旅行エージェント、台湾をはじめとする現地旅行エージェントに積極的にセールスを行い、入場者が回復傾向にある。特にインバウンド旅行者は初の1万人の大台を超え、奥州市内へのインバウンド旅行者数増加を牽引している。また、各種イベント、企画展、体験教室等の自主事業も毎年工夫しながら活発に行うなど、入場者の確保に努力しており評価できる。また、経費節減と施設の適切な管理、苦情、災害、事故についてもマニュアル等を作成しており、危機管理対策が適切であり評価できる。</p>	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	25周年記念事業で整備した観光庭園を軸に、新たな観光誘客策について年次計画を策定する。	夏のホテル観賞会、秋の紅葉ライトアップなど開園以来初の夜間営業を試験的に実施した。	夜間営業が好評であり、新たな観光資源として定着させ、更なる誘客促進のための企画を検討する。

平成30年度指定管理者評価調査

施設担当課	商業観光課
-------	-------

施設名称	温泉保養施設ひめかゆ（本館ほか8施設）	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	株式会社ひめかゆ	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日（3年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	①市民の健康維持増進及び観光の振興を図る。②ふれあい活動による活力と魅力あるまちづくりを推進する。③市民の憩いの場、コミュニケーションの醸成の場を提供する。④都市と農村の交流を推進する。	指定管理料の有無	有
施設概要	温泉保養施設ひめかゆ本館、温泉保養施設ひめかゆほっと館、ゆうゆプラザひめかゆ、農村ふれあいセンター、ひめかゆハーブの家、ひめかゆグルメハウス、交流促進センターやけいし館、フラワーガーデンひめかゆ	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	ひめかゆ温泉		152,847	145,324	132,987	129,548	
やけいし館		18,693	17,346	17,924	17,419	97.2	
ひめかゆハーブの家		907	946	1,528	885	57.9	
(計)		172,447	163,616	152,439	147,852	97.0	
〔利用者の増減理由〕 全体的な人口減少、市内類似施設で同様に見られる温泉需要の減少の影響から、定期利用者は減少傾向にある。日帰り入浴部門、宿泊部門の減少が特に大きい。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	7,346,000		7,346,000	歳入	使用料		使用料	1,937,500	
	宴会・食堂・売店売上	145,996,866		145,996,866		賃貸料				
	入浴売上	59,981,834		59,981,834		その他				
	宿泊・休憩売上	82,939,988		82,939,988		計(A)	0	計(A)	1,937,500	
	計	296,264,688	0	296,264,688						
	支出	人件費	127,003,283		127,003,283	歳出 ※経常的	指定管理料	7,346,000	負担金	36,682,200
		設備管理費	58,255,201		58,255,201		委託料		委託料	6,345,521
		一般管理費	78,367,830		78,367,830		需用費		その他	341,070
		材料費	64,227,091		64,227,091		その他			
		計	327,853,405	0	327,853,405	計(B)	7,346,000	計(B)	43,368,791	
					支出(B-A)	7,346,000	支出(B-A)	41,431,291		
					歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費	367,500	
						備品購入費		備品購入費	68,953	
計	327,853,405	0	327,853,405	計(C)	0	計(C)	436,453			
損益	△ 31,588,717	0	△ 31,588,717	支出(B+C-A)	7,346,000	支出(B+C-A)	41,867,744			
職員配置	常勤職員	9人		市の正職員	0人					
	臨時・非常勤職員	49人		市の臨時・非常勤職員	0人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額		0					
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		38.7%		H30年度 指定管理者損益	△ 31,588,717円		評価		
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数		49.7円		事業目的に適合しない支出等の有無			2		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕 34,085,291円				評価		
	指定管理者制度の導入により指定管理制度導入以前より大幅に予算が削減されている。しかし、施設の老朽化による修繕費が増加している。			〔行革効果額の積算根拠〕						
		H30	H29	比較						
	直営支出額	41,431,291	41,431,291	0			3			
	市支出額	7,346,000	6,089,400	1,256,600						
効果額	34,085,291	35,341,891	△ 1,256,600							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	日帰り、宿泊利用者の受入とイベント開催、施設利用者への農畜産物の提供と企画立案、バンガロー利用者の受入、公園の除草等環境整備、その他温泉保養施設の管理運営業務	○		3
自主事業	温泉保養施設に付帯する関連施設の管理運営	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	経年劣化による老朽化が目立つ。	灯油の流出事故発生のため。	×	2
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	職員、専門業者による保守点検が行われている。		○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員、専門業者により実施されている。		○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	利用者が居ない場所、時間帯の省エネルギー等概ね適正な努力を認めた。		○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設利用者賠償責任への加入を確認した。		○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正に植栽管理されていることを確認した。		○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に執行されていることを確認した。		○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	チラシ等を利用して集客の宣伝に努めていることを確認した。		○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	接客等の研修指導により、好感をもたれる窓口対応に努めていることを確認した。		○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	事例の共有化により迅速な対応を行っていることを確認した。		○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	季節の料理や宿泊プランを企画した。		○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月定期的に報告を受けている。		○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。		○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。		○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により確認した。		○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。		○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。		○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	年2回（上期・下期）実施を確認した。		○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	1 宿泊利用客にアンケート実施 2 食堂利用客にアンケート実施	
	調査結果	1 宿泊利用客にアンケートは、月平均10人程度記入してもらっている。 2 食堂利用客にアンケートは、月に1～2人程度記入してもらっている。		
	要望・苦情等	良好とする評価 ・食事、従業員の接客、温泉の質		
		苦情・改善要望等	・客室の寝具類、虫の発生、食事の量、喫煙ルームの設置	

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	2	3
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	2	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理事業について、事業計画に基づき適切に実施され、接客研修等によりサービス内容の向上に積極的に取り組むなど、今後の取り組みにも期待が持てる。 ・灯油管が経年劣化により腐食したことにより、灯油が推定500L流出した。そのほとんどが施設内敷地土壌に浸透し、少量が水路に流れ出たことから、消防がオイルフェンスを設置する事態となった。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	売上を増加させるため、料理の改善、インターネット経由の予約強化、SNSの活用による魅力発信等を行う。併せて、経費削減のため光熱水費の契約見直し等を行	ホームページの活用、新たな宿泊プラン及び料理の開発を行っている。	SNSを活用した更なる情報発信、新たな宿泊プランの構築。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	商工観光部商業観光課
-------	------------

施設名称	奥州湖交流館	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	一般社団法人いわて流域ネットワーク	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日（1年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	胆沢扇状地の自然、歴史及び文化を知ることのできる場並びに市民に交流の場を提供し地域の活性化を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	奥州湖交流館（展示室、ホール・物販、展示スペース） ※旧胆沢ダム学習館、会議室 ※旧胆沢ダムCMステーション（旧胆沢ダム建設ステーションは現在使用していない）	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州湖交流館	7,343	9,108	6,227	6,790	109.0	
会議室	165	24	121	423	349.6		
(計)	7,508	9,132	6,348	7,213	113.6		
〔利用者の増減理由〕 指定管理者が変更となり、周辺の自然を活用したラフティング事業の展開が開始されたためと考えられる。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	7,500,000	0	7,500,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	0	0	0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業	0	9,655	9,655		その他		その他		
	雑収入	0	0	0						
	計	7,500,000	9,655	7,509,655		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	1,420,000	0	1,420,000	歳出 ※経常的	指定管理料	7,500,000	人件費	
		需用費	1,152,994	0	1,152,994		委託料		委託料	
		役務費	215,849	0	215,849		需用費		需用費	
		委託料	2,054,128	0	2,054,128		その他		その他	
		使用料・賃借料	72,140	0	72,140		計(B)	7,500,000	計(B)	0
租税公課		0	0	0	支出(B-A)	7,500,000	支出(B-A)	0		
その他諸費		506,710	0	506,710	歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費		
賃金		18,200	0	18,200		備品購入費		備品購入費		
計	5,440,021	0	5,440,021	計(C)		0	計(C)	0		
損益	2,059,979	9,655	2,069,634	支出(B+C-A)	7,500,000	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	1人		市の正職員	0人					
	臨時・非常勤職員	2人		市の臨時・非常勤職員	0人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	17,600	17,600	0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		26.1%	H30年度指定管理者損益	2,069,634円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		1,039.8円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△7,500,000円	評価		
	平成27年4月1日から指定管理を導入し、同年4月11日に開館したため、市直営の実績がなく、比較することはできない。(市直営とした場合、人件費の増額が予想される)			〔行革効果額の積算根拠〕				3		
				H30	H29	比較				
				直営支出額	0	0	0			
			市支出額	7,500,000	7,490,000	10,000				
			効果額	△7,500,000	△7,490,000	△10,000				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	胆沢ダム周辺の情報発信等に関する業務、施設及び設備の維持管理に関する業務、会議室の利用申請等に関する業務、その他管理運営に必要な業務	○		3
自主事業	自主事業計画書に基づき実施 水源地を活用した各種事業（カヌー体験会等）及びその実施支援のための事業（川の安全講習会等）	○	自主事業計画書に基づき実施 水源地を活用した各種事業（カヌー体験会等）及びその実施支援のための事業（川の安全講習会等） →施設の活用方針及び指定管理者が変更になったため	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に保守点検が行われ、維持管理されている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	職員、専門業者による保守点検が行われている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員、専門業者により実施されている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	利用者が居ない場所、時間帯の省エネルギー等概ね適正な努力を認めた。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設利用者賠償責任への加入を確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正に植栽管理されていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に執行されていることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	チラシ等を利用して集客の宣伝に努めていることを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	接客等の研修指導により、好感をもたれる窓口対応に努めていることを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	事例の共有化により迅速な対応を行っていることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	写真展やラフティングなどを行った。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月定期的に報告を受けている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	計画に沿った実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	実施の有無	有		評価
	利用者アンケート	調査内容	入館利用者アンケート	
		調査結果	4月～11月まで実施。	
	要望・苦情等	良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・説明がわかりやすかった。 ・とても清潔感があり、ジオラマも素敵でした。 ・親切でとても良い。 ・胆沢平野の水の大切さを知ることができました。 	
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・オムツ替え用のベッド、授乳スペースがあると助かります。 ・畳のスペースは上がってもいいのか、展示してあるだけなのか、わかりにくかったです。 	
				3

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度より新たに指定管理し、指定管理前に市の施設として管理した実績がないため、行革効果については把握できない。 ・指定管理事業については、事業計画に基づき適切に実施されている。 ・自主事業に関しては、胆沢ダム周辺の体験型観光のために積極的に取り組んだ。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	指定管理者が変わることから、インターネット等での施PR、ラフティング体験会等の新たな取り組みにより、利用者数の増加につなげる。	(一社) いわて流域ネットワークのHPを活用した情報発信を行い、ラフティング等を実施した。	体験型コンテンツの一層の情報発信及び取り組みにより、利用者の増加につなげる。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	商工観光部企業振興課
-------	------------

施設名称	奥州市勤労青少年ホーム、奥州市勤労青少年ホーム江刺サテライト	施設所在地	水沢・江刺地域
指定管理者名	特定非営利活動法人夢追座	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日（3年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市内に居住し、又は市内の事業所で働く勤労青少年が、仕事の余暇を利用してスポーツ・レクリエーション・クラブ活動などを通じ交流を深めるとともに、生活及び職業の相談並びに支援を行うことで勤労青少年の健全な育成と福祉の増進を図ることを目的とする。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金
施設概要	奥州市勤労青少年ホーム：体育館、日本間、調理室、音楽室ほか 奥州市勤労青少年ホーム江刺サテライト：多目的ホール、音楽室ほか		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市勤労青少年ホーム	9,730	9,637	11,951	9,751	81.6	
奥州市勤労青少年ホーム江刺サテライト	9,372	8,706	7,929	6,514	82.2		
(計)	19,102	18,343	19,880	16,265	81.8		
〔利用者の増減理由〕 ・登録者数の減							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	16,433,000		16,433,000	歳入	使用料	0	使用料	77,620	
	利用料金	679,500		679,500		賃貸料	0	賃貸料		
	自主事業		154,443	154,443		その他	0	その他		
	雑収入	91,172		91,172						
	計	17,203,672	154,443	17,358,115		計(A)	0	計(A)	77,620	
支出	人件費	11,129,028		11,129,028	歳出 ※経常的	指定管理料	16,433,000	人件費	31,002,871	
	需用費	1,869,208		1,869,208		委託料	0	委託料	2,936,836	
	役務費	455,276		455,276		需用費	0	需用費		
	委託料	791,370		791,370		その他	0	その他	6,661,541	
	使用料・賃借料	34,524		34,524		計(B)	16,433,000	計(B)	40,601,248	
	租税公課	1,337,387		1,337,387		支出(B-A)	16,433,000	支出(B-A)	40,523,628	
	その他諸費	175,250	27,755	203,005		歳出 ※臨時的	維持修繕費	1,180,440	維持修繕費	2,561,073
							備品購入費	136,944	備品購入費	
計	15,792,043	27,755	15,819,798	計(C)	1,317,384		計(C)	2,561,073		
損益	1,411,629	126,688	1,538,317	支出(B+C-A)	17,750,384	支出(B+C-A)	43,084,701			

職員配置	常勤職員	3人	市の正職員	3人
	臨時・非常勤職員	2人	市の臨時・非常勤職員	5人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	1,696,700	1,017,200	679,500

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出	70.5%	H30年度指定管理者損益	1,538,317円	評価
-----------	----------------------	-------	--------------	------------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数	1,010.3円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	--------------	----------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 24,090,628円			評価	
	指定管理に係る経費を約3割削減することができており、行革効果は表れている。	〔行革効果額の積算根拠〕				
			H30	H29		比較
		直営支出額	40,523,628	40,523,628		0
		市支出額	16,433,000	24,046,000		△ 7,613,000
効果額	24,090,628	16,477,628	7,613,000			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	管理施設の使用許可に関する業務、管理施設等の維持管理及び運営に関する業務、自主事業に関する業務、管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務、勤労青少年に関する業務等	○		3
自主事業	わかか市	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切に管理している	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検を行っている	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に行っている	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めている	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	-		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に管理している	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施している	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	ホームページを活用して周知をしている	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切に実施している	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等はなく、適切な対応を取れる体制としている	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	わかか市（クラフト市）を9月に開催した	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	半年に一度利用状況を報告している	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施している	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検を実施している	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	実施している	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	適切に体制を確保している	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	緊急連絡網等を整備している	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	10月に訓練を実施している	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	施設利用者にアンケートを実施	
		調査結果	教養講座の際に次回実施して欲しい講座を聞いているが、特に新設の希望はなし	
	要望・苦情等	良好とする評価	特になし	
	苦情・改善要望等	特になし		
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	2	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	5	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入により、人件費やその他費用が抑制され行革の効果が表れており、評価できる。 ・「わか市」は、会員や出店者、来場者の交流が図られ、盛況のうちに開催されている。 ・苦情や要望等にも対応しているほか、指定管理者として施設の管理・運営について滞りなく実施している。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	適切な施設管理の維持	適切に維持管理が行われている	適切な施設の維持管理

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	商工観光部企業振興課
-------	------------

施設名称	奥州市伝統産業会館	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	水沢鋳物工業協同組合	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成29年4月1日～平成31年3月31日（3年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地場産業の健全な発展と伝統的工芸品産業の振興を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	1階：事務室、展示室（ミニプラザ、秀作鋳物コーナー、工場再現コーナー、鋳物とのふれあいコーナー、ビデオコーナー、くらしと鋳物コーナー）、庭園 2階：資料室、研修室	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市伝統産業会館	2,503	4,641	5,638	5,997	106.4	
(計)	2,503	4,641	5,638	5,997	106.4		
〔利用者の増減理由〕							
平成29年度から大型連休やお盆等に入館料無料期間を設けたほか、プロ野球選手の大谷翔平選手握手像を設置しており、以降増加傾向を続けている。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支			
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)	
					歳入	歳出	歳入	歳出
収入	指定管理料	6,063,500		6,063,500	使用料		使用料	428,000
	利用料金	415,400		415,400	賃貸料		賃貸料	
	自主事業	0		0	その他		その他	
	雑収入	0		0				
	計	6,478,900	0	6,478,900	計(A)	0	計(A)	428,000
支出	人件費	3,825,000		3,825,000	指定管理料	6,063,500	人件費	
	需用費	1,466,218		1,466,218	委託料		委託料	5,639,105
	役務費	71,767		71,767	需用費	285,120	需用費	99,935
	委託料	1,735,152		1,735,152	その他		その他	
	使用料・賃借料	0		0	計(B)	6,348,620	計(B)	5,739,040
	租税公課	0		0	支出(B-A)	6,348,620	支出(B-A)	5,311,040
	その他諸費	106,370		106,370	維持修繕費		維持修繕費	
	計	7,204,507	0	7,204,507	備品購入費		備品購入費	
損益	△ 725,607	0	△ 725,607	計(C)	0	計(C)	0	
				支出(B+C-A)	6,348,620	支出(B+C-A)	5,311,040	

職員配置	常勤職員	6人	市の正職員	0人
	臨時・非常勤職員	2人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	976,400	561,000	415,400

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	53.1%	H30年度指定管理者損益	△ 725,607円	評価
-----------	--------------------	-------	--------------	------------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	1,011.1円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	2
----------------	------------	----------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 △ 1,037,580円			評価
	直営時と比較すると、消費増税や電気・水道料の値上げ等による指定管理料の増額により行革効果額はマイナスとなっている。	〔行革効果額の積算根拠〕			
			H30	H29	比較
		直営支出額	5,311,040	5,311,040	0
		市支出額	6,348,620	7,683,500	△ 1,334,880
効果額	△ 1,037,580	△ 2,372,460	1,334,880	1	

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可業務、使用料金の収受に関する業務、利用に関する窓口相談業務、維持管理及び修繕に関する業務、警備、清掃並びに植栽管理に関する業務	○		3
自主事業	企画展の開催 年4回 ・南部風鈴展 ・奥州市南部鉄器展受賞作品展 ・奥州鉄瓶新作展 ・南部鉄器干支展	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切に管理している。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に行われている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	LED電球の使用等省エネに努めている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に管理している。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施している。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	テレビ、ラジオ等のメディアを活用し周知を図っている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切に実施している。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等はなく、適切な対応を取れる体制としている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	南部鉄器に係る企画展を開催している。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月利用状況の報告を受けている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検を実施している。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	実施している。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	適切に体制を確保している。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	緊急連絡網等を整備している。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	3月に実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	常時、受付窓口にアンケート用紙を配置。 【アンケート内容】 ・来館回数 ・来館目的 ・施設評価 ・施設を知った媒体は何か	
	調査結果	・大谷翔平の握手像があり、握手できて良かった。 ・南部鉄器の伝統産業が分かって良かった。		
	要望・苦情等	良好とする評価		
	苦情・改善要望等	・二階に上がる階段が急こう配なので昇り、下りがつらい。 ・階段の勾配を緩やかにしてほしい		
				3

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2	
2 経費等の状況 (行革効果)	1	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の努力により、入館者数が増加を続けていることは評価できる。 ・苦情等に適切に対応しているほか、施設の管理・運営について滞りなく実施している。 ・来館者へのアンケート調査を踏まえ、指定管理者として適切な事業運営にあたっている。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	さらに魅力ある施設にするための取組	大谷翔平選手握手像の設置、企画展の実施	さらに魅力ある施設にするための取組

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	商工観光部企業振興課
-------	------------

施設名称	江刺産業技術交流センター	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	職業訓練法人江刺職業訓練協会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日（3年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	江刺中核工業団地立地企業と地域企業間の技術交流を図り、併せて従業員の技術研修を促進する。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	大研修室、研修室、和室研修室、技術研修室ほか		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺産業技術交流センター	4,804	4,545	4,063	5,128	126.2	
(計)	4,804	4,545	4,063	5,128	126.2		
〔利用者の増減理由〕							
・委託訓練（離職者等再就職支援訓練）が1コース（15人×20日×3ヶ月）増えたことによるもの。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支			
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)	
					歳入	歳出	歳入	歳出
収入	指定管理料	4,032,000		4,032,000	使用料	0	使用料	80,300
	利用料金	136,050		136,050	賃貸料	0	賃貸料	0
	自主事業	0		0	その他	0	その他	114,424
	雑収入	201,158		201,158				
	計	4,369,208	0	4,369,208	計(A)	0	計(A)	194,724
支出	人件費	900,000		900,000	指定管理料	4,032,000	人件費	1,200,000
	需用費	1,711,864		1,711,864	委託料	0	委託料	1,131,390
	役務費	64,308		64,308	需用費	0	需用費	1,384,864
	委託料	1,545,142		1,545,142	その他	0	その他	192,259
	使用料・賃借料	0		0	計(B)	4,032,000	計(B)	3,908,513
	租税公課	127,000		127,000	支出(B-A)	4,032,000	支出(B-A)	3,713,789
	その他諸費	20,894		20,894	維持修繕費	311,040	維持修繕費	17,325
	計	4,369,208	0	4,369,208	備品購入費		備品購入費	
損益	0	0	0	計(C)	311,040	計(C)	17,325	
				支出(B+C-A)	4,343,040	支出(B+C-A)	3,731,114	

職員配置	常勤職員	2人	市の正職員	人
	臨時・非常勤職員	1.5人	市の臨時・非常勤職員	人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	914,700	778,650	136,050

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	20.6%	H30年度指定管理者損益	0円	評価
-----------	--------------------	-------	--------------	----	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	786.3円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	--------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕			△ 318,211円	評価
	直営時と比較すると、指定管理料の増額により行革効果額はマイナスとなっている。	〔行革効果額の積算根拠〕				
			H30	H29	比較	
		直営支出額	3,713,789	3,713,789		0
		市支出額	4,032,000	4,032,000		0
	効果額	△ 318,211	△ 318,211		0	

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	管理施設の利用許可・不許可に関する業務、管理施設の維持管理に関する業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	・適切に管理している	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	・専門業者による保守点検を行っている	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	・適切に行っている	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	・省エネに努めている	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	-		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	・適切に管理している	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	・適切に実施している	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	・HP、新聞等のメディアを活用して周知を図っている	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	・適切に実施している	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	・苦情等については適切な対応を取れる体制をとっている	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	-		
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	・上半期、下半期に利用状況を報告している	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	・個人情報保護方針に基づき実施している	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	・法定点検を実施している	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	・実施している	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	・適切に体制を確保している	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	・緊急連絡網等を整備している	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	・適宜訓練を実施している	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	4
		調査内容	・施設利用者に対してアンケートを実施	
	調査結果	・概ね良好		
	要望・苦情等	良好とする評価 ・部屋の掃除が行きとどいている。 ・施設の設立当時より貸りているが、いつも綺麗で昔と変わらない。 ・大変親切に対応していただき助かった。		
	苦情・改善要望等	・備品のスクリーンが大きすぎて使いにくい。三脚の組み立てが難しく重量もあり女性が使うには無理がある。 ・AED の設置 ・ロビーでの受付が暗い。もう少し明るい照明にして欲しい。 ・窓を開けながらの講習会は、虫などの侵入が多く、集中できないとの苦情があり、網戸の設置を希望。		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	3
	1 施設の利用状況	5	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	2		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	4		
評価理由	・昨年度より施設の利用者が増加したことは評価できる。 ・苦情や要望等にも対応しているほか、施設の管理・運営について滞りなく実施している。 ・来館者へのアンケート調査を踏まえ、指定管理者として適切な事業運営にあたっている。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	前年度に引き続き正確な業務量の把握	業務量についてのヒアリングを実施し、指定管理に係る業務の確認をした	適切な施設の維持管理

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	商工観光部企業振興課
-------	------------

施設名称	前沢勤労者研修センター	施設所在地	前沢地域
指定管理者名	前沢商工会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市内の企業等に雇用される勤労者の資質及び技術向上を図り、もって商工業の振興に資するとともに、勤労者及び市民の福祉増進に寄与することを目的とする。	指定管理料の有無	有
施設概要	木造平屋建て（敷地面積：1,889.75㎡、延床面積：464.16㎡） 研修室1・2・3	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	前沢勤労者研修センター	9,672	9,084	9,191	6,976	75.9	
(計)	9,672	9,084	9,191	6,976	75.9		
〔利用者の増減理由〕							
<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体1回あたりの利用人数や利用回数が減ってきている ・以前は休日にも空きのない状態が多かったが最近では利用が全くない日や1団体のみの利用等が増えてきている ・当センターは選挙の投票所として使用されており、選挙の有無により利用者の増減があるため、選挙による利用人数を考慮し評価を2とした 							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支			
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(25年度)	
					歳入	歳出	歳入	歳出
収入	指定管理料	1,863,000		1,863,000	使用料	0	使用料	287,225
	利用料金	390,500		390,500	賃貸料	0	賃貸料	0
	自主事業	0		0	その他	0	その他	35,997
	雑収入	36,003		36,003				
	計	2,289,503	0	2,289,503	計(A)	0	計(A)	323,222
支出	人件費	550,000		550,000	指定管理料	1,863,000	人件費	967,597
	需用費	836,195		836,195	委託料		委託料	380,775
	役務費	1,766		1,766	需用費		需用費	111,258
	委託料	576,595		576,595	その他		その他	686,015
	使用料・賃借料	0		0	計(B)	1,863,000	計(B)	2,145,645
	租税公課	0		0	支出(B-A)	1,863,000	支出(B-A)	1,822,423
	その他諸費	0		0	維持修繕費	78,948	維持修繕費	46,348
	計	1,964,556	0	1,964,556	備品購入費		備品購入費	
損益	324,947	0	324,947	計(C)	78,948	計(C)	46,348	
				支出(B+C-A)	1,941,948	支出(B+C-A)	1,868,771	

職員配置	常勤職員	4人	市の正職員	0.1人
	臨時・非常勤職員	4人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	5,493,500	5,103,000	390,500

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	28.0%	H30年度指定管理者損益	324,947円	評価
-----------	--------------------	-------	--------------	----------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	267.1円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	--------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕			△40,577円	評価
	本制度の導入により、人件費等の削減に伴う経費面での効果は表れているが、需用費の増により行革効果はマイナスとなっている。	〔行革効果額の積算根拠〕				
			H30	H29	比較	
		直営支出額	1,822,423	1,822,423	0	
		市支出額	1,863,000	1,824,000	39,000	
効果額	△40,577	△1,577	△39,000	2		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	利用予定管理に関する業務、施設の維持管理及び修繕に関する業務、清掃並びに植栽等の管理に関する業務、鍵の管理に関する業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切に管理している	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検を行っている	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に行っている	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めている	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	-		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に管理している	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施している	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	HP等のメディアを活用し周知を図っている	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切に実施している	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等はなく、適切な対応を取れる体制としている	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	-		
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月利用状況を報告している	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施している	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検を実施している	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	実施している	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	適切に体制を確保している	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	緊急連絡網等を整備している	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	例年9月・2月に訓練を実施している	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	施設利用者アンケート	
		調査結果	ほとんど回答が得られなかった	
	要望・苦情等	良好とする評価		
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	3
	1 施設の利用状況	2	
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	2	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	・適切な施設管理を行っており、今後の運営についても滞りなく実施されることが期待できる。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	適切な施設管理の維持	指定管理者として適切に施設管理を行っている。	適切な施設の維持管理

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	商工観光部企業振興課
-------	------------

施設名称	水沢勤労者体育館	施設所在地	水 沢
指定管理者名	特定非営利活動法人夢追座	公募・非公募の別	公 募
指 定期間	平成29年4月1日～平成31年3月31日（3年間）	新規・継続の別	継 続
施設設置目的	市内の企業に雇用される勤労者及び地域住民の福祉の増産を図り、心身の健全な発達に寄与することを目的とする。	指定管理料の有無	有
施設概要	アリーナ（418.50㎡）、事務室、器具庫、玄関ホール、トイレ	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	水沢勤労者体育館	11,368	10,405	10,998	9,187	83.5	
(計)	11,368	10,405	10,998	9,187	83.5		
〔利用者の増減理由〕							
・ 利用回数の減							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(24年度)			
収入	指定管理料	960,000		960,000	歳入	使用料		使用料	469,400	
	利用料金	600,000		600,000		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	12,224		12,224						
	計	1,572,224	0	1,572,224		計(A)	0	計(A)	469,400	
支出	人件費	412,000		412,000	歳出 ※経常的	指定管理料	960,000	人件費	868,960	
	需用費	362,233		362,233		委託料		委託料	242,132	
	役務費	104,510		104,510		需用費		需用費	313,705	
	委託料	227,540		227,540		その他		その他	239,010	
	使用料・賃借料	35,441		35,441		計(B)	960,000	計(B)	1,663,807	
	租税公課	62,354		62,354		支出(B-A)	960,000	支出(B-A)	1,194,407	
	その他諸費			0		歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費	
	計	1,204,078	0	1,204,078			備品購入費		備品購入費	
損益	368,146	0	368,146	計(C)	0	計(C)	0			
				支出(B+C-A)	960,000	支出(B+C-A)	1,194,407			

職員配置	常勤職員	2 人	市の正職員	0.1 人
	臨時・非常勤職員	2 人	市の臨時・非常勤職員	0 人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	652,900	52,900	600,000

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	34.2 %	H30年度指定管理者損益	368,146 円	評価
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	104.5 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 234,407 円			評価
	本制度の導入により、人件費や管理費の削減に伴う経費面での効果が表れた。指定管理料については前年度と同額である。	〔行革効果額の積算根拠〕			
		H30	H29	比較	
直営支出額		1,194,407	1,194,407	0	
市支出額		960,000	979,440	△ 19,440	
効果額	234,407	214,967	19,440		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設利用予定管理に関する業務、施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務、清掃並びに植栽等の管理に関する業務、鍵の管理に関する業務	○		3
自主事業	若者を対象としたニュースポーツイベント	△	貸出利用を優先したため	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切に管理している	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検を行っている	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に行っている	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めている	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	-			
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に管理している	○		
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施している	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	ホームページを活用して周知をしている	○		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切に実施している	○		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等はなく、適切な対応を取れる体制としている	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	未実施	貸出利用を優先したため		△
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月利用状況を報告している			○
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施している	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検を実施している	○		
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	監視カメラを設置し、貼り紙での警備の周知を図った	○		
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	適切に体制を確保している	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	緊急連絡網等を整備している	○		
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	未実施	無人管理のため		×

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	利用者アンケート	
	調査結果	特に回答はなし		
	要望・苦情等	良好とする評価		
		苦情・改善要望等	トイレの不具合に関する報告があったがすぐに対処した	
				3

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	2	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	2		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者で除雪・周辺のゴミ拾い・草刈等実施し、経費の削減に努めていることは評価できる。 ・ 鍵の開閉操作が、指定管理者により電話での遠隔操作となり、利用者の負担の軽減に取り組んでいることは評価できる。 ・ 苦情等もなく、利用者からの要望にも適切に対応しており、運営について滞りなく実施されていることが評価できる。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
-	-	-	(指定管理者が変更になったため)適切な施設運営及び維持管理